

－ 農の雇用事業による取組事例 －

秋田県大仙市 農事組合法人中仙さくらファーム

- 「失敗は成功の基」との考えから、従業員のチャレンジ精神を醸成し、若い人材を確保・育成。
- 毎日の朝礼で作業内容等の情報共有を図り、風通しのよい職場環境とチームワーク作りを実践。

(農)中仙さくらファームの概要

【設 立】平成17年4月

【代表者】代表理事 田村 誠市

【売上】9,370万円(H29)

【事業内容】水稲、大豆、りんどう、ぶどうの
生産販売、農家レストラン経営

【経営面積】水稲45.5ha、大豆49.1ha、りん
どう0.9ha、ぶどう0.7ha等

【主要取引先】大手外食チェーン、地元介
護施設・飲食店、JA等

【従業員数】正社員6人

【所在地】秋田県大仙市豊川字田川



研修・人材育成の取組内容

【研修概要】

- ・研修1年目は、様々な作目・作業を幅広く経験させることで、農業技術の基礎を身につけさせるとともに、適性を判断しています。
- ・研修2年目は、1年目の研修内容を反復させることに加え、各部門の専門的な技術研修を実施しています。

【雇用就農者の定着に向けた特徴的な取組】

- ・毎日の朝礼で作業状況等の情報共有を行い、風通しのよい職場環境とチームワーク作りに努めています。
- ・1年目だからこれはできないという先入観を持たせず、どんな作業にもチャレンジさせています。そのため、失敗しても周りがフォローしています。
- ・能力は人それぞれであるとの考えから、適正を見極めることによって、適材適所の人員配置を実施しています。
- ・長期的に働いてもらうためには、従業員の家族の理解と協力が不可欠であるとの考えから、従業員採用にあたっては、家族の方にも当法人の方針等についての説明を行っています。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・就業規則の作成等、さらなる職場環境の改善に努めていきます。
- ・地域から頼られ、活躍できる農業者のリーダーの育成を目指していきます。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基礎的な栽培管理技術の習得
- ・農機具、機材の整備技術の習得

部門責任者 (中核従業員)

- ・生産計画の立案・管理
- ・生産資材等の注文・管理

法人役員

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の確保・育成